



「2022-23財団学友会総会 2023-24グローバル・地区補助金奨学生壮行会」を終えて

国際ロータリー第2510地区 学友委員会

委員長 鈴木 抄織
(札幌大通公園RC)

2023年6月10日(土)、ロイトン札幌を会場に「2022-23財団学友会総会 2023-24グローバル・地区補助金奨学生壮行会」が開催されました。この日は、会に先立ち「国際奉仕 人道支援事業報告会」、そして財団学友による「ポリオ根絶チャリティーコンサート」も行われ、多くの関係ロータリアンが効率よく複数のイベントにご参加されるという、ユニークで盛りだくさんな一日となりました。チャリティーコンサートでは財団学友のお二人、清水一智子さんと大橋直紀さんが素晴らしい歌声を披露してくれました。お二人は、ちょうど1年前の壮行会の際、イタリア留学中でいらした清水一智子さんはリモートで参加されて、現地から近況報告をしてくださいました。出発直前の大橋直紀さんは、渡航準備でお忙しいにもかかわらず会場参加され、出発前の抱負と歌声を披露してくれました。そんな経緯がありましたので、この日のコンサートのお二人のさらに成長された姿に、私は心が震えるほど感動して、素晴らしい演奏を感無量な気持ちで堪能させていただきました。

「グローバル・地区補助金奨学生壮行会」は、財団奨学金・平和フェロー委員会が主催の行事です。数年前から同委員会のご厚意で、「これから派遣される奨学生は財団学友となるので、財団学友会の総会と一緒に開催すれば、留学前の奨学生と多くの学友が一堂に会し、交流することができるでしょう」ということで、壮行会の前に財団学友会総会を開催させていただくことになり、学友委員会もコラボさせていただくことになりました。私も財団学友の一人です。実際、この日も多くの財団学友が「総会・壮行会」の受付を担当してくださり、この日の会場参加のDG奨学生、堺友里さんと積極的にコミュニケーションを図ってくれていました。国際奉仕・VTT委員会の高張秀人委員長は、今まで財団学友と接する機会がなかったとのことで、「初めて交流できた」と喜んでくださっていました。このようにいろいろな委員会や学友と一緒に集まる機会、コラボ企画のようなものを、今後増やしていくことができれば、ロータリアンと学友のよりスムーズな交流が図れるのでは?とっております。



壮行会では、DG(地区補助金)奨学生の堺友里さんが、大学在学中に起きた東日本大震災の経験から就職を経たのち、都市計画を学びたいとの強い思いで、マサチューセッツ工科大学へ留学されるというお話をしてくださいました。その後の懇親会で、財団学友会の鈴木洋史会長より学友バッジが贈呈されました。リモート参加のGG(グローバル補助金)奨学生の朝倉利晃さんは、現在すでに留学中のロンドン大学衛生熱帯医学大学院の研究を継続されるということ、もう一人DGの小林献さんは、札幌出身の医師ということで、心臓にまつわる医療機器のエコシステムを研究されるため、コロンビアビジネススクールで研究されるそうです。皆さんの志が素晴らしく、留学中、全力で研究に励んでいただきたいと願って止みません。帰国後は、財団学友の一員として地区に貢献して下さることでしょう。

最後になりますが、石丸ガバナー、松原財団委員長、大友次期財団奨学・平和フェロー委員長はじめ、関係ロータリアンの皆様、財団学友会の皆様に心より御礼を申し上げます。

